



かざこし

(公財) 長野県長寿社会開発センター 45号

飯伊地区賛助会

平成29年4月14日

事務局 飯田市追手町2-678

飯田保健福祉事務所福祉課 (飯田合同庁舎)



シニア世代のための タウンミーティング開催

さる2月21日(火)、「シニア世代のためのタウンミーティング」が飯田保健福祉事務所・(公財)長野県長寿社会開発センター飯伊支部・飯伊地区賛助会主催、下伊那郡老人クラブ連合会・いいだシニア連絡会共催、(社福)飯田市社会福祉協議会・(公社)飯田広域シルバー人材センター協力により開催され、シニア大学飯伊学部1年生を中心に2年生や飯伊地区賛助会員のほか、一般参加者や関係団体などを含め200人余りが南信消費生活センターに集まりました。

今回のタウンミーティングでは、社会参加の参考となるような「シニアのチカラを求めている活動団体」と賛助会をはじめとする「シニアの活動を支援する団体や機関」など、15団体が出店形式で参加し、各団体紹介ののち、それぞれ興味のある団体と交流を図り、情報交換等を行いました。

まとめの会では、長野県長寿社会開発センター内山二郎理事長をファシリテーターに、交流会で出された感想などをもとに、全体で意見交換を行い閉会となりました。(関連記事8頁に掲載)



開会挨拶 石澤支部長



出店団体のPR (シルバーコーラスかざこし)



センター本部より



交流会の様子



飯伊地区賛助会もPR (巻井会長)



まとめの会 (意見交換)

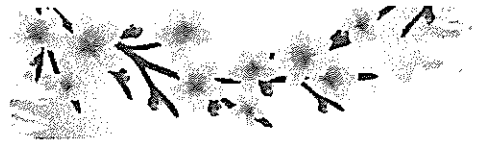
(公財)長野県長寿社会開発センター

平成29年度 飯伊地区賛助会役員・事務局員名簿

役職	氏名	住所	備考
会長	まきい きよと 巻井 清人	松川町元大島	
副会長	すきがら 権夫 鎌柄 権夫	飯田市鼎中平	
副会長	はやし としお 林 利夫	飯田市下久堅南原	
会計	あかば たずこ 赤羽 田鶴子	飯田市鼎西鼎	
会計補佐	ふじもと あや子 藤本 あや子	飯田市千代千栄	
幹事	やまもと まさこ 山本 雅子	飯田市東新町	
〃	しみず あきら 清水 明	飯田市座光寺	
〃	かなだ きみこ 金田 喜美子	飯田市鼎上山	
〃	きがきわ たけし 氣質澤 健	飯田市座光寺	
〃	もりやま みきお 森山 幹夫	飯田市浜井町	
〃	おかにわ たかこ 岡庭 登子	飯田市山本	
〃	わたなべ まさかず 渡辺 正一	高森町下市田	
相談役	よしかわ りょう 吉川 玲	豊丘村神福	元賛助会長
〃	ささき りょうすけ 佐々木 亮助	飯田市鼎下茶屋	前賛助会長
監事	なとり つぎお 名取 津義生	飯田市松尾清水	元賛助会長
〃	こしの わたる 越野 わたる	豊丘村河野	元賛助副会長
事務局長 (相談役)	いざわ ひと志 石澤 一志	飯田保健福祉事務所福祉課	福祉課長
事務局次長	いざわ かつまさ 吉澤 勝正	飯田保健福祉事務所福祉課	福祉課社会係長
事務局主幹	いざわ ゆり 西沢 友幸	飯田保健福祉事務所福祉課	福祉課社会係
社会活動推進委員	まつざわ ひであき 松澤 秀明	飯田保健福祉事務所福祉課	
シニア活動推進コーディネーター	いまむら みつとし 今村 光利	飯田保健福祉事務所福祉課	



役員及び事務局就任・退任の挨拶



《 就 任 》 西 沢 友 李 事務局主幹

本年度より（公財）長野県長寿社会開発センター飯伊支部で主幹を務めることになりました西沢と申します。

まだまだ慣れない事務に関わることになりましたが、人生の先輩でもあります皆様のお力をお借りして、良い運営ができるように尽力したいと思っております。至らない面もありますが、よろしくお願い致します。

《 就 任 》 森 山 幹 夫 賛助会役員

シニア大37期生です。実践講座で人形劇活動のシニア大での先駆者として、『人形劇団「ふたご座」』を立ち上げ、卒業を期に賛助会に入会いたしました。「出会い、触れ合い、学びあい」の理念を大切に、シニア世代が地域において率先して活動し、輝き続ける事が出来ます様、賛助会においても活動して参りたいと思います。何卒、宜しくお願い致します。

《 就 任 》 渡 辺 正 一 賛助会役員

今春卒業しました、シニア37期生の「七葉会」の7人です。賛助会は初めてで、分からない事が多いので先輩のご指導を頂きながら薬草、薬膳料理の知識を深め、末広がり的人生を大切にしたいと思います。よろしくお祈りします。

《 就 任 》 藤 本 あ や 子 賛助会役員

私はシニア大学37期として、この春卒業しました。シニア大学では多くの友達ができ、あっという間の2年間でした。賛助会にはハーモニカクラブの人達と入会しました。役員をお引き受けする事になりましたが分からない事ばかりです。先輩方のご指導を頂き皆様と協力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



《 退 任 》 北澤 康明 事務局主幹

この度、業務の変更により退任になりました。

信州ねりんピックや支部活動事業では賛助会の皆様の力があつたからこそ、無事事業を進めることができました。

「人生 100 年時代」という言葉も聞かれるようになり、ますますシニア世代のチカラが必要になります。飯伊地区賛助会の皆様がこれからもご健勝で、シニア世代を輝かせる活動を担い、一層ご活躍されることを願っています。

2年間大変お世話になりました。

《 退 任 》 竹村 元志 賛助会役員

二年間という大変短い期間でしたが、賛助会に役員の一員として務めさせていただきました。会のために何ら役立つことがなくての退任で恐縮ですが、若くて有能な方々がおいでの中、私がこれ以上続けることの方が、はるかにマイナス面が大きいと考え決断いたしました。

これからは、米国トランプ大統領の方針やイギリスの EU 離脱等々世界的な動きにも目を向けながら、社会貢献はできないまでも、せめて自分の健康には留意して、若い皆さん方に迷惑をかけないよう生きていきたいものと思っています。

お世話になりました。

賛助会グループ、4つが立ち上がる

4月から、4つの新しい賛助会グループが活動を始めます。今春シニア大学を卒業した37期生から、○『NSU 人形劇活動班(ふたご座)』(5人)、○『「七葉会」』(7人)、○『ハーモニカクラブ「福寿草」』(11人)の皆様が、今年シニア大学2年生になる38期の中から、○『383会』(6人)の皆様です。

新入会員を増やしたいと役員会でも取り組んできました。今春から復活した「グループ立ち上げ給付金制度」(新たに5人以上でグループを立ち上げたグループに1万円の給付をする制度)のお蔭もあり、4つのグループと個人会員を合わせて33人の新入会員を迎えることができました。37期生の3つのグループについては、「信州りらく2017春号」の29ページ、「三方よし」で紹介されていますのでご覧ください。

『383会』については、本誌で紹介させていただきます。

『383会』

シニア大学2年生になる3班の仲間6人で結成しました。1年生の実践活動は「上郷ディーサービス」で大型紙芝居を上演して交流をしました。班では何回か公民館をお借りして料理を楽しんできました。そんな経験を活かして、新たに賛助会に入って福祉施設利用者の皆様との交流をしたいと思っています。



賛助会総会・講演会のご案内

と き：平成29年6月2日（金）午後1時30分～

ところ：飯田合同庁舎 3階 講堂

どなたでも
参加できます。
お誘いください

講演会のご案内

郷土の先人に学ぶ

講題 「地蔵になった男 宮澤 芳重 一生き方と学び一」

貧しさのため進学できなかった宮澤は、郷土である飯田に「郷立大学」をつくる夢を抱き、東京でニコヨンなどの肉体労働をして稼いだお金の大半を、飯田市立図書館や飯田高校に送金した。志半ばにして亡くなってしまった。没後地元の人達は、清貧の生涯とその志を讃えて「芳重地蔵」を建て顕彰している。

この宮澤芳重にいち早く着目して、昭和51年（1976年）「人間 宮澤芳重 一その反俗の生涯一」を執筆して紹介したのが講師である松下拡先生です。一昨年「地蔵になった男」（NHK・TV）の上映と座談会が開催され、その記録集「いま 宮澤芳重」が出版された。この企画・運営を中心となって進めた方が松下先生です。

今回の講演会を通して、宮澤芳重さんの目指した「教育」への理念に対する理解が深まればと願っています。

講師 宮澤芳重の会会長 松下 拡（まつした ひろむ）先生

松川町の公民館社会教育主事を長い間勤められ、全国的にも注目される公民館活動を展開されました。ご退職後は都留文科大学、飯田女子短期大学等で講師を務められると共に全国各地で講演をされています。宮澤芳重を世に出した方であります。

シニア大学卒業式が行われました

と き：平成29年2月28日（火） ところ：県飯田合同庁舎

卒業生：男性31名 女性55名 計86名



「シニア活動推進コーディネーター」が、人生二毛作をお手伝いします

「シニア活動推進コーディネーター」は、情報収集、提供や情報交換会の開催などを通じて各地域の関係機関の連携・協働を仕掛け、『人生二毛作プラットフォーム』をつくりながら、シニアの社会参加をお手伝いしています。

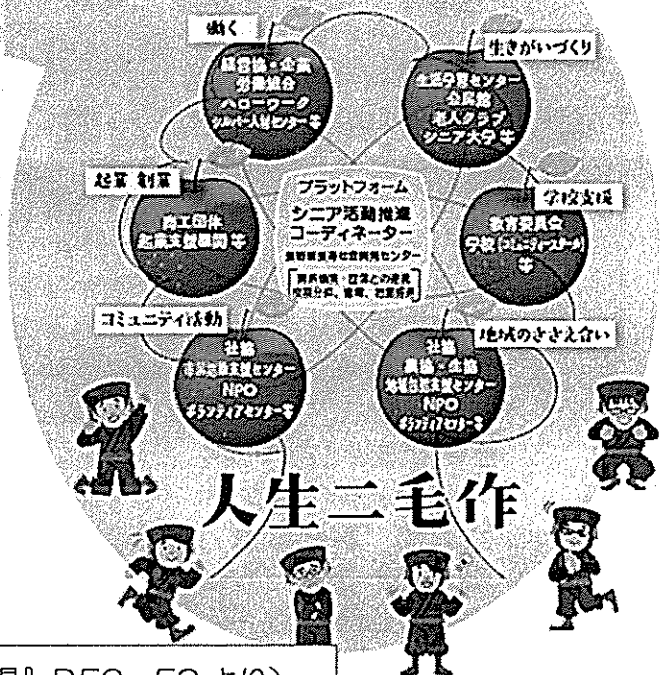
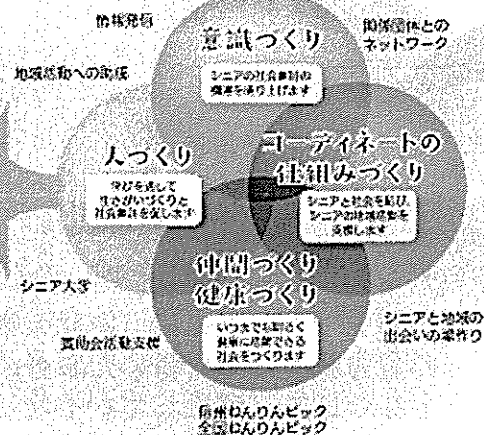
シニア活動に関する情報や相談など、コーディネーター今村まで、お気軽にご連絡下さい

長野県長寿社会開発センターは、県とともに、人生二毛作の推進に取り組んでいます

「シニア活動推進コーディネーター」が、人生二毛作をお手伝いします

「シニア活動推進コーディネーター」は、情報収集、提供や情報交換会の開催などを通じて各地域の関係機関の連携・協働を仕掛け、『人生二毛作プラットフォーム』をつくりながら、シニアの社会参加をお手伝いしています。

誰もがその人らしく生き抜く
長寿社会の実現



シニア大学実践研修のワークショップ実施。事務局意見が活発です



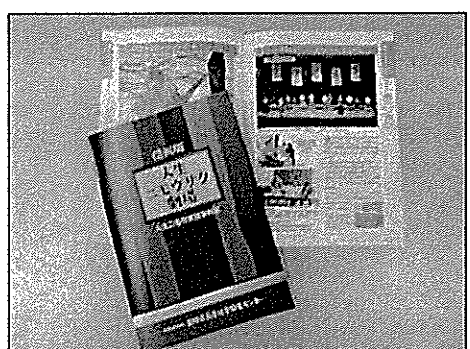
信州わんりんの参加者と一緒に楽しむロビーコンサート



シニアと社会を結びシニアの社会参加を促します

(『人生二毛ウサク劇場』 P52・53 より)

「人生二毛作実践事例集～信州版『人生二毛ウサク劇場』～」を発行しました



このたび(公財)長野県長寿社会開発センターでは、シニア活動推進コーディネーターらが中心となって、県内各地で活躍するシニアの皆さんの取組を取材してまとめた「人生二毛作実践事例集～信州版『人生二毛ウサク劇場』～」を発行しました。人生100年時代と言われる今、シニアの皆さんは多様なステージで活躍しています。

この事例集では、活動の動機をもとに5つのカテゴリに分け、サロンやカフェなどの居場所づくり、世代間交流、観光ガイド、学校支援ボランティア、Uターン者の就労、空き家の活用など、多岐にわたる60の事例を紹介しています(飯伊からは8事例)。多くの皆様に広くご活用いただければ幸いです。

☆事例集を希望される方には、長野県長寿社会開発センター本部・支部で無料配布します。
★印刷数には限りがあります。下記HPからもダウンロードできますので、ご活用ください。

http://www.nicesenior.or.jp/nimou_syakai/jireishu.html

‘老いる雑感’

鋤柄 惟夫

年をとると老いる。当たり前のごんじゃ。だども当事者としちゃなんともやり切れんとこある。

何年か前、老いは出たり引っ込んだりしとった。少し目が遠くなったなあ、少し耳が遠くなったかなあと思とった。老いは徐々にその居場所を拡げ、最近じゃどっぷり俺の中にアグラをかいて俺を悩ませとる。出ていく気配なんぞまるでねえ。ますます存在感を増してきてとる。自然の摂理じゃでなあ仕方ねえか。なんとか老いと折り合いをつけて、俺は新しい刺激を求めて、一步一步力強く老いに対処していきたいと願とる。

ところで、話が少し変わるが、先月・1月のごんじゃ、どこぞの成人式にテレビが取材に入った。女性のインタビュアーが成人式の若者にマイクを向けた。若者「だいてえ年寄りが長生きし過ぎじゃ。世の中老人が多過ぎるんじゃ」と、瞬間俺は「何をこく、へばい小僧じゃ、どんな教育しとんじゃ」と腹を立てた。今の銭金万能の世の中にしてきんは我々老いの世代じゃ。人としての情の部分をかきちんと教えてきとらんかったんじゃ。銭金だけに絞りゃ、年金の問題、老人医療の問題等若者に負担をかける部分は多い。老人を支える若者の比率はだんだんひどくなる。となるとへばい若者が増えてくるかも知れん。

ある老人がいうとった。95歳のじいさまじゃ。「日本の教育は間違えとる」納得するこたあある。

昔、新渡戸稲造は米国で先生をやとった。同僚に「日本には宗教がない。宗教から生まれる教育理念がない。教育理念のない教育ではいい教育はでけん。」新渡戸は反発して武士道なる本を出版した。「日本には古く、武士社会の子弟教育には武士道が根本にあった。江戸時代社会が安定してくると、武家社会の子弟教育理念は士農工商に及ぶようになった。これが日本の教育理念じゃ。」武士道について簡単に説明することはむずかしい。ただ、大事なものを護ろうとする心、正義を通そうとする心、正義を見る力、正義に対して死をもって貫く力、また、愛、寛容、同情、自己犠牲といった仁の心。忍耐、強い肉体、不屈、勇猛からくる礼の大切さ。まあ素人じゃし長くは書けん。武士道の本が発刊されたのが明治32年、外国の偉い人たちは感激したそう。明治37年日露戦争、ここで武士道にのつとった乃木の終戦のみごとはアメリカのルーズベルトを感激させた。そして仲裁に乗り出した。日本は勝つたと勘違いした。そして武士道を捨てた。教育理念なき日本教育が始まった。そして太平洋戦争でくだらん戦争を止める勇気も正義を見る目もなかった。

最近文科省天下りが問題になつとる。文科省の偉いさん方よ、自分のことばっか考えんと、日本の教育理念を考え直せ。

又、御同輩の老人各位よ、人生二毛作も大事、生涯健康づくり、仲間づくり皆んな大事。ただなあ、今の銭金万能社会は我々老いの世代がつくってきたんじゃ、我々老いの力で、これからの日本づくりでけるといいなあ。

〈原稿募集〉

機関紙「かざこし」は、年4回発行しています。編集部では、毎回賛助会員の皆さん並びにシニア大学学生の皆さんからのご投稿をお待ちしております。詩歌・散文など何んでも結構です。

原稿送付先及び問い合わせ先は下記です。

事務局 飯田保健福祉事務所・福祉課 担当 松澤 ☎0265-53-0464 F A X0265-53-0474

編集後記

雪まじりの雨でも、少しずつ春に近づいている今日この頃です。

入学・就職人事異動等に関わる引っ越し作業もひと段落して、いよいよ新年度の始まりです。私たちシニア世代も明るい明日を信じて、行動を起こしましょう。

今回の「かざこし」も、多くの行事の記事があります。多くの皆様にお読みいただき、行事などへのご参加をお願い致します。

巻井 清人



シニア世代のためのタウンミーティング

交流会出店は 15 団体。多くの参加者のみならず団体間でも活発に情報交換をしました。

《出店団体》

飯伊地区賛助会 ★青は支援団体や機関

飯田広域シルバー人材センター

長野県みらい基金

長野県高齢者生活協同組合
(かがやきなごの)

飯田市役所長寿支援課

飯田市ボランティアセンター
(飯田市社会福祉協議会)

まめボラ ★赤はシニアを求める団体

シニア大ボランティア会

認知症の人と家族の会「わたの実会」

農愉快

いいた人形劇フェスタ実行委員会

婚活サポーター「アイリスの会」

南信美術会

オカリナ「宙(そら)」

飯田シルバーコーラス「かぜこし」

交流会の様子



シニア大ボランティア会は販売も



資料にも熱心に目を通す姿が



シニア活動を支援する団体にも



賛助会員 婚活サポーターも出店



まとめの会

会場の参加者と出店団体の方々、皆で意見交換



シニアのチカラを求める団体にも



『「つながる」意味の大切さ』 まとめの会での気付き

「今まで知らなかったけどやってみたい」「簡単そうに参加したい」(参加者)

「早速入会があった」「出演依頼があった」「多くの人に知ってもらえた」

(出店者) など、感想をもとに意見交換されました。

社会参加が身近なものであること、社会参加の意味は「つながる」という事であることが語られました。

(その後：出店者から入会者や参加者が増えた、との声が寄せられています。)